

株式会社アトス・インターナショナル
株式会社アトス・ブロードキャスティング
番組審議委員会 議事録

1. 日時：2024年7月4日(木) 15:30～16:10

2. 場所：株式会社アトス・インターナショナル本社 会議室(オンライン形式)

3. 出席者：

○番組審議委員(敬称略)

番組審議委員長 齋藤 純一(株式会社IPG ネットワーク 監査役)

番組審議委員 五十嵐 弘之(日本コロムビア株式会社 取締役 CFO、株式会社ドリーミュージック
取締役)

番組審議委員 谷口 元(株式会社東京谷口総研 代表取締役社長)

番組審議委員 佐藤 毅(ゼフロユナイテッド株式会社 代表取締役社長)

番組審議委員 松山 梢(映画ライター)

番組審議委員 田中 良典(一般財団法人ヤマハ音楽振興会 事業企画開発部 普及企画グループ
シニアパートナー)

番組審議委員 望月 秀城(株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント 経営企画グループ
シニア アドバイザー)

番組審議委員 山崎 哲央(元株式会社テレビ神奈川プロデューサー、元株式会社 tvk コミュニケーシ
ョンズ取締役、元関内ホール館長) (書面参加)

○番組供給者

株式会社アトス・インターナショナル

堀口 昭典(代表取締役社長)

城水 千明(代表取締役)

原田 真紀子(取締役)

井上 靖(執行役員)

株式会社アトス・ブロードキャスティング

二階堂 敬(執行役員 営業統括)

4. 審議事項

① ミュージック・グラフィティ TV

<チャンネルの状況、編成内容>

2023年7月～2024年6月にかけて特別編成が増加。その中からピックアップとして、昨年9月放送の「食欲の秋、食欲を刺激する番組『17時間』大特集！」を紹介する。

秋と言えば食欲の秋ということで、森永製菓株式会社が制定した9月9日「親子でCOOK(くっく)の

日」にちなみ、9月9日(土)と10日(日)の2日間にわたり、グラフィティTVの貴重なアーカイブの中から食欲を刺激する番組で17時間特集。番組例としては、「懐かしのインスタントラーメン」「ペコちゃんミュージアム特集」「懐かし探偵団ロツテリア編」等々、全部で20番組を放送。

②地方競馬ナイン

〈チャンネルの状況、編成内容〉

全国9つの競馬場のレース実況中継、ホッカイドウ競馬、ばんえい競馬、名古屋競馬、そのだ・ひめじ競馬に関してはレースダイジェスト番組、そして名古屋競馬、そのだ・ひめじ競馬に関しては展望番組も放送。

そしてこの1年間は「岩手競馬ダービーグランプリ 2023 展望特番」、「北海道競馬2歳馬レース総集編」、例年通り「JBCクラシック」等々、特別番組を編成。今中央競馬ファンの方々の関心が地方競馬に移りつつある中、中央競馬ファンの方を意識し、地方競馬に関心を持ってもらう主旨で特別番組を制作していく。

年間トピックスとしては、2023年の12月20日～2024年1月6日までは地方競馬プレミアムウィーク実施期間に合わせて、同期間に於いて無料放送を実施。2023年度の総放送日数は946日と過去最多を記録。対象競馬場の総開催日数1045日の90.5%を放映。

③ミュージック・ジャパン TV

〈チャンネルの状況、編成内容〉

チャンネル全体の編成方針としては、従来通りヒットソング120%を軸に、J-POP、K-POP、アニソン、アイドル系を中心に編成。ターゲット層としては、女性10代から50代、男性が30代から50代がメインとなっている。

トピックスの1つ目として、反応が大きかった番組を紹介する。

人気ジャンルとしては、ダンスボーカルグループの特集番組で、中でも、2023年10月放送の「京セラドーム公演直前! J01 スペシャル」、2023年5月・11月に放送の「超特急スペシャル」の反響が特に大きかった。「超特急スペシャル」に関しては、この7月にも新たに編成。

2つ目のトピックスとして、2023年11月放送の「ソン・シギョンスペシャル vol.5」を紹介する。

「韓国のバラード界の皇帝」の異名を持つ韓国を代表するシンガー・ソングライター、ソン・シギョンのスペシャルインタビューを放送。楽曲制作過程や、日本と韓国の歌詞の表現の違いや音楽ジャンルの変遷など、シンガー・ソングライターの視点ならではのインタビュー内容が好評を得た。

最後に2023年3月より放送開始の番組「M+」を紹介する。

このシリーズは、ミュージック・ジャパン TVに加え、ミュージック・エアでも放送。番組放送開始以来、様々なジャンルのアーティストを取り上げ、特に反響が大きかったのは、アニソン系アーティストのSPYAIRとClariSの2組。110度(スカパー!)での展開ということもあり、より多くの方が視聴可能な環境ということで、より視聴者のニーズを組み取ったラインナップで今後も展開していく予定。

④寄席チャンネル

〈チャンネルの状況、編成内容〉

寄席チャンネルの方針としては、トラディショナルな寄席演芸と現在の時流に則した新しい新鮮な高座

を取り上げる方針を継続。

昨今の概況としては、放送の方はケーブルテレビ局への供給、主要三大ネットワークでの24時間放送。特定の時間帯だけを選択する部分導入やサブスクリプション型での供給どちらも好調。

配信の方はAmazon Prime Videoチャンネルの利用者が多く、昨今はサブスクよりも個別で作品単位で利用しているユーザーが増えてきている。

編成面では一般の方に興味を持ってもらう機会を増やす狙いで、演者の一般的な認知度をより重視。その中からいくつかのトピックスを紹介する。

- 落語界の王道である柳家さん喬、柳家喬太郎、柳家権太楼クラスの演者を年1~2回収録を継続。
- 人間国宝の五街道雲助、五街道雲助の弟子の隅田川馬石、最初の人間国宝五代目先代の柳家小さんの実の孫である柳家花緑を1年前に収録。
- これまでどこの局でも放送がほとんどない今一番注目の蝶花楼桃花の独演会を昨年未収録。
- 俳優の風間杜夫の貴重な高座を今年収録。また笑点でお馴染みの三遊亭好楽の弟子で日本武道館で真打昇進披露公演を行った錦笑亭満堂の高座を収録。
- 上方落語の方にも力を入れており、NHK 新人落語大賞大賞受賞の桂二葉、バラエティ等でも活躍の露の団姫なども収録。
- 新しい話芸、試みとして、怪談イベント、落語×電子講談×スポークン・ワードの3種の演芸『話芸-WAGEI-』、ねづちのなぞかけとマジックのふじいあきらの共演も収録。
- U字工事など毎回話題のゲストが出演する漫才のロケット団の定例集会を半年に1回収録。林家きく麿×三遊亭歌武蔵×春風亭一蔵ら人気落語家による三人会『3肥良乱ショー』を収録。

今後も特別な演者の収録・公演を続けていくとともに、コラボレーション企画も取り上げていく。

以上



